

柳城

R y u j o

柳城学院報

第61号

発行所：学校法人 柳城学院

〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54
TEL.052-841-2635 FAX.052-841-2697

発行者：洪澤 一郎

2016年8月1日



学長就任式

目次

理事長からのメッセージ	2
新学長に長縄年延が就任	3
自覚と誇りを胸に歴史と伝統を継承	3
理事長祝辞	3
学長式辞	3
学長からのメッセージ	4
柳城学院の将来計画について	5
創立百二十周年に向けて	5
2015年度「卒業式」を挙行	6
マーガレット・ヤング基金ご報告とお願い	6
退任のごあいさつ	7
新海学長・尾上特任教授 最終講義	7
学院人事	7
理事・監事・評議員	7
幼児教育研究所	8
今どき柳城の、お昼ご飯についての報告	8
附属柳城幼稚園	9
附属豊田幼稚園	10
附属三好丘聖マーガレット幼稚園	11
幼稚園の卒園式	12
幼稚園の入園式	12
同窓会	12
後援会	12
2015年度 会計報告	13
特別給付奨学金表彰式	13
2016年度入試結果	14
2016年度就職状況	14
2017年度入試概要	15
「同窓生推薦入学試験」についてのお知らせ	15
イベントのお知らせ	16
付属幼稚園情報	16
同窓会情報	16

小さいことを大切に

はじめに

新年度も4ヶ月が過ぎましたが、学生の皆さん、園児の皆さん、そして教職員の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。皆様の今年度の歩みの上に神様の祝福と導きをお祈りいたします。

■渡辺和子さんのこと

去る4月の短大の入学式で長縄年延学長が渡辺和子さん（シスター・ノートルダム清心学園理事長）のことに触れておられました。わたしも先生の著書を何冊かお読みし、また、大分前ですが直接お話もお聞きしたことがあります。清楚で、しかし凛とした厳しさを備えた大変魅力的な先生です。先生の著書『面倒だから、しよう』の中に「この世に雑用という用はない、用を雑にした時に、雑用が生まれる」という言葉があります。先生がアメリカで修道女の訓練をしていた時、食事で百人くらいのシスターたちの食器を並べる

仕事があり、それを知らず知らずの内に知的刺激のない単純作業と考えてしまい、ある時、修練長から「あなたは時間を無駄にしている」と注意され、自分がいつの間にか傲慢な人間になっていたことに気付かされたそうです。それをきっかけにお皿を並べるときには一人一人のシスターの顔を思い浮かべ、愛と祈りをもって並べることにしたそうです。時間の使い方は命の使い方であり、用を雑にした時、雑用は生まれるのだということを中心に叩き込まれたと書いておられます。

■イチロー選手のこと

そんなことを考えていましたら、最近の新聞に大リーグのイチロー選手の言葉が載っていました。「小さなことを重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道」というものです。イチロー選手は日米通算4000本以上の安打を打ち、天才と言われています。確かに天才で

はありますが、それは大変な努力の結果でもあるのです。少年時代には元日を除いて364日バッティングセンターに通い続けたそうです。（それだけでも天才と言えますが。）40歳を過ぎた現在も若い時と同じ練習をしています。4000本安打という「とんでもない」記録もそういう小さなことの積み重ねの結果なのです。

■わたしたちの生き方

わたしたちはみんなかけがえのない「いのち」（生）をこの世に受け、そのいのちを生きています。どんないのちにも「雑」はありません。わたしたちが生きて行く上で経験するすべての事柄―皆さんの場合ですと勉強、実習、先生や家族、友だちとの関係、愛、遊びなど―にも「雑」はないと思います。皆さんがそれを「雑」と思ったとき、それは「雑」になってしまうのです。たとえどんなに小さいことでもそれを大切に思うときそれが素晴らしいものになるのです。

■イエス・キリストの教え

イエス・キリストは「ごく小さなことに忠実な者は、大きな事にも忠実である。ごく小さなことに不忠実な者は、大きな事にも不忠実である」と言っています（ルカによる福音書16章10節）。イエスは小さなことの大切さを真から知っておられたお方です。イエスは偉大な人と思われていますが、人間の的に見たら決してそうとは言えません。イスラエルのナザレという小さな村で育たれ、大工として働き、30歳くらいで少しの弟子たちだけを従えて神様の教えを宣（の）べ伝えて歩きました。活動されたのはイスラエルとその周辺だけで、しかも活動期間は数年だけでした。さらに、主に関わられたのが貧し



理事長 洪澤 一郎

い人々、病気の人々、当時の社会では「罪人（つみびと）」と呼ばれた人たちでした。そして、最後は十字架で殺されてしまったのです。イエスはたしかに多くの奇跡を行われましたが、それが働きの本質ではありませんでした。むしろ、多くの小さくされた人たち―文字通り小さい子どもたちも含まれます―に深い愛情をもって関わるのがイエスの生き方でした。小さなことに関わり、それを大切にしていくということは神様の事柄に関わることなのです。わたしたちも小さなことや「雑」と思われることにこそ神様の真理があることを覚え、大切にしていきましょう。

新学長に

長縄年延が就任

名古屋柳城短期大学第8代学長新海学長の退任に伴い、理事会は新たに本学理事の「長縄年延氏」を学長に任命しました。入学式を前に、就任式が執り行われ、理事長より推薦された長縄氏が、『愛をもって仕えよ』という建学の精神を尊重し、神の助けをいつも願ひ求め、力の限り学長の任務を誠実にを行うことを約束します。どうかみなさん祈りをもってこの私の任務を支えてください」と誓いの言葉を述べました。すべての教職員、学生、学院関係者は、「新学長に就任される長縄先生を心から歓迎し、新学長と心を一にして、建学の精神に従ひ共に学び・働き、いつも祈りをもって支えることを約束します」と歓迎の意を表しました。理事長より「あなたを名古屋柳城短期大学の学長として任命いたします。その証として聖書が手渡され、第9代学長として長縄年延氏が就任しました。

自覚と誇りを胸に

歴史と伝統を継承

227人が新たなステージへ

2016年度の名古屋柳城短期大学入学式が、4月2日、満開に咲き誇る桜の下で行なわれました。真新しいスーツに身を包



んだ、保育科211名。更なる学びの場として、保育専攻5名、介護福祉専攻11名、合計227名が、厳かな雰囲気で行なわれる礼拝形式の入学式に臨みました。期待と緊張の入り混じった表情の新入生は、保護者と在学生、教職員が見守る中、一人ひとり「新入生認証」を終え、本学への入学を許可されました。

新たなステージ・学びの場として柳城での学生生活をスタートさせました。

式では、長縄学長より「満開の桜もみなさんのこれからを祝福しているかのようです。夢と希望をもって柳城での生活を満喫してください。みなさんの入学をこころよりお祝いいたします」と式辞を述べられました。また、洪澤理事長からは、「みなさんが柳城を支え、歴史を繋ぎ、引っ張っていただく。これからの柳城の学びで知識や技術とともに人間性を養ってください」と祝辞が新入生に送られました。

理事長祝辞

みなさんは今日から長い歴史を持つ柳城の一員になられました。マーガレットヤング先生が、118年前に創立された柳城を多くの方が支えてきてくださいました。これからの「柳城での学び」が生活の中心・基礎になることを心より願っております。短い時間でありますのであつという間に毎日が過ぎていくと思います。その中で一日一日を大切にし、毎日を新しい日と意識して過ごしてください。毎日を大切にしていれば、2年後にはきっとその成果が目に見える形で表れてくると思いますし、卒業後の人生の中でこの2年間が大きな位置を占めることになると思います。着実にその歩みを大切にしてい

ただきたいと思います。

この柳城において、単に勉学だけではなく、自らの人間性も磨く時間になってください。そのためにも「建学の精神」を心の片隅に収めておいてください。聖書の中では、愛をもってつかえよ、そして隣人を自分のように愛しなさいという言葉があります。この2つの言葉の「愛」は繋がっていると思います。自分を愛し、隣人を愛するということをこの柳城の中で体験し学んでいただければと思います。

これからの学びの中から知識や技術、経験とともに豊かな人間性を養っていただきたいと思います。

柳城の生活が祝福されたものであることを心よりお祈り申し上げます。

学長式辞

これから何を職業として働くかを含めて、各自が将来を見据え、人生の節目に決断をして今ここにいるわけです。私も先ほどの就任式で学長になったばかりで、この大役に不安は尽きませんが、みなさんの助けを借りて頑張りたいと思います。

さて、私は今まで多くの人に出会うことができました。特にノートルダム清心女子大学の学長をされていた「渡辺和子さん」にお会いしお話を聞くことができました。渡辺さんは、26事件でご尊父を亡くされ、その時の怒声と銃声、情景は70年経っても目と耳に焼き付いていると執筆された本の「置かれた場所で咲きなさい」でふれられています。その渡辺さんは、36歳の若さで学長という大役を命じられ、驚き

と困惑、自信喪失の時期に宣教師から「Bloom where God has planted you. (神が植えたところで咲きなさい)」という言葉をいただいたそうです。「置かれたところが今の居場所であり、自分らしく生きていけば、必ず見守ってくれる人がいるはずですよ。咲けないときは根を下に張りなさい」と書いておられます。私自身が学長を引き受けるにあたり、この「置かれた場所で咲きなさい」がきっかけとなりこの大役を引き受けることになりました。

118年を迎える本学には多くの素晴らしい卒業生の方がおいでになります。みなさんもその後を継いでください。愛は相手を大切にします。仕えるは行動する。これからみなさんは多くの人と出会うことになりましたが、この建学の精神を大切にしていただきたいと思います。みなさんの入学を心よりお祝いします。

学長に就任して ～2016年当面の重点課題～

名

古屋柳城短期大学の学長に就任して早くも4ヶ月が経とうとしています。入学式や大学礼拝、教授会や各種委員会など皆さんの助けを借りながらなんとかやってきましたが、柳城の伝統の素晴らしさを手ごたえとして感じる事ができるようになりました。

4月21日から1泊2日で全学約400人参加の伊良湖学外合同ゼミナール「夢ゼミ」に参加しました。「人間とは何か」今皆さんに考えてほしいこと」と題して1時間講演をし、参加した皆さんに話し合っていたいただきました。また歌や踊りコントによる新入生歓迎会では若々しい学生パワーにびっくり、新入生の皆さんは1晩ですっかり柳城生に変身したのではないのでしょうか。

現在は、それぞれゼミナールごとに学生の皆さんとお昼の弁当を食べながら、なぜ柳城に入学したのか、卒業後の夢など楽しい語り合いの時を持ちながら、柳城生の生き方や考え方を聞いています。子

供を愛し、明るく夢をもって保育や福祉の仕事に立ち向かおうとしていることに心を打たれました。

今年選挙権が18歳以上になります。学生の皆さんは、いま社会が抱えている問題に関心が薄くやや不勉強なことが気になりました。もう少し世の中の動きに関心をもつていただきたいと思っています。

名古屋柳城短期大学はいま多くの課題を抱えています。未来に向かって柳城学院全体で協力しながらひとつひとつの課題を解決していかねければなりません。2016年は以下の5つの当面の重点課題について努力していきたいと思います。

1. すぐれた入学者の確保と 保育者の育成

日本の少子化が進む中、18歳人口の減少は大学全体に大きな影響を与えており、愛知県の保育系大学・専門学校でも半数以上が入学者の定員割れとなりました。名古屋柳城短期大学では、昨年保育科が大幅に入学定員を下回りました

が、高校訪問など全学を挙げての努力した結果、今年度は定員を超える入学者を確保することができました。来年度の入学者の確保にむかって、すでにオープンキャンパスや高校訪問など全学的な活動がはじまっています。専攻科（保育専攻、介護福祉専攻）の慢性的な定員割れも何とかしなければなりません。

名古屋柳城短期大学の教学上の三つの方針「ディプロマポリシー・学位授与の方針」「カリキュラムポリシー・教育課程編成実施の方針」「アドミッションポリシー」入学者に関する受け入れ方針」にそって、すぐれた入学者を確保し、幼児教育・保育界に活躍できる人材を送りだしていかなければなりません。

2. 魅力的な柳城生活のための
キャンパス整備

2018年は柳城学院にとつて創立120周年記念の節目の年です。「愛をもって仕えよ」という建学の精神と伝統がいきいきと満ち、学生が夢をもって学び学園生

活を送れるキャンパス空間を創っていききたいと思っています。2号館の増改築を中心に学生生活センターの開設、1号館の耐震改装工事、5号館の建て替え工事、中庭の整備等、将来計画委員会、キャンパス整備委員会を中心に、2017年度着工、2018年度完成をめざし、実行可能なキャンパス整備を進めたいと思います。

3. 社会の要請にこたえる
幼児教育・保育の確立

いま日本では、安心して子育てができるための社会体制づくり、特に幼児教育・保育について強い社会的要請があります。豊田幼稚園では「幼保連携こども園」のた

4. 開かれた大学、
地域社会への貢献

名古屋柳城短期大学では、これまでその歴史と伝統を生かし、多くの人材を幼稚園や保育園、社会福祉施設に送りだし、地域社会への貢献をしてきました。これから



学長 長縄 年延

も開かれた大学として、地域社会の保育、介護福祉の拠点としての役割を果たしていかなければなりません。専攻科を中心に科目等履修生の受け入れ、実習設備の活用、赤ちゃん教室、紙芝居や絵本の読み聞かせ教室、柳城祭の地域への開放などをより一層進めたいと思います。

5. 柳城学院としての

ガバナンスの確立

理事会と教授会・各種委員会・各部署の連携を密にするため、理事と教職員の協働関係を強化します。学生生活支援機能確立のため、教務課、就職課、入試広報課の一体化を進めます。法人事務局、総務課、経理課の効率的な一体的運用を進めるとともに、柳城学院全体の経営計画、広報戦略体制等の強化を図ります。

今年、短大職員の自己申告の提出、考課面接など新しい人事考課制度がスタートしました。さらに幼稚園教職員、短大教員にまでできるだけ早急に拡大し、柳城学院における人事考課制度の確立を目指します。

以上2016年度の当面の重点課題の実現に向けて、柳城学院内外の関係者の皆様のご理解ご協力をよろしく願います。

■ 柳城学院の将来計画について

2014年度から将来計画委員会の活動が始まりました。その中心となる取組として、学長から提示された「名古屋柳城短期大学改革課題—PDC Aサイクルにもとづいた改革—」を関係委員会・部署において検討してもらい、計画の立案とその実行を通して各課題が改善されるように仕組みを回すことを行ってきました。1年目の取組では多くの成果が得られました。2015年度は更に学長から出された「重点方針」を中心に据えて改革活動を継続しました。

一方、将来計画委員会独自の課題としては「柳城の将来に向

けて、学内外の意見や調査を通して方向性を導く」を掲げて実行してきました。これについては、

2014年度末に実施した、教職員による学内ディスカッションでの意見に加え、2015年6月には本科生、専攻科生、2014年度卒業生を対象に学生満足度調査を行い、その分析と検討を委員会内で、データ集計、カリキュラム、ハード、組織の四つのワーキンググループに分けて行いました。

ワーキンググループでの成果については、カリキュラム改善できる点は、即実行を目指し2016年度の年間行事や時間割にも反映することとしました。またハード面については、学生からの要望と

してもっとも大きかったのは食堂でしたが、それについては、パンやおにぎりなどの自動販売機の導入や弁当の訪問販売、さらには移動販売車（キッチンカー）による販売等を試験的に実施しながら、学生の要望に応えることができるようさらに検討していきます。学

生のための、学生の立場にたった組織作りについては、大きな規模でのハード面の改善（新校舎の建設、学生対応事務部門の一体化等）と連動するため、理事会とも連携したキャンパス整備を進めることを開始しました。

このハード面の改善については、学院全体のグランドデザインとも関連し、短期大学、附属幼稚園も含めて実行していく必要があります。（法人事務局）

附属幼稚園を取り巻く環境としては、保育園機能を持つことが強く望まれており、自治体もそれを後押ししている状況の中で、附属豊田幼稚園の「幼保連携型認定こども園」への移行を理事会において決定しました。

今後、2019年度開園を目指して準備を進めていきます。

2年後には、マーガレットヤング先生が保母養成を始めてから120年の節目の年を迎えます。キャンパス整備の検討、附属幼稚園のこども園化については、今まさに始動したところであり、今後学院に関連する方々の意見を取り入れ、十分な検討を重ねながら実現するように進めていきます。

■ 創立百二十周年に向けて

マーガレットヤング先生が、東区白壁の地で1898年に保母養成を始めてから今年で118年を迎え、多くの方が本学院を巣立っていかれました。これまでの歴史の中で、幾多の困難の中でも本学院は、創立者の精神を違えることなく、保育と向き合ってきました。そ

して、この本学院も2年後には120年という節目の年を迎えます。この節目となる年を迎えるにあたり、本学院では、理事長を筆頭に学長、副学長、附属柳城幼稚園長、同窓会長、教職員との協力を得て、120周年準備委員会を立ち上げ、『キャンパス整備、記念誌の発行、豊田幼

稚園のこども園化、学生・園児のための新たなビジョンづくり』など120年にふさわしい記念事業に取り組んでいるところであります。

これまでの歩みと本学院の発展を支えて下さった方々に深く感謝するとともに、柳城に脈々と受け継がれてきた「By Love Serve」愛をもってつかえよの精神を次の節目となる150

年・200年に向けて捉えなおし、今まで以上に有為な人材を輩出し、卒業生、卒園生、在学生、在園児、教職員そして本学院に関わるすべての方が誇りとする学院でありたいと願っております。今後とも本学院発展のためにみなさまの力強いご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

2015年度「卒業式」を挙行



2015年度の名古屋柳城短期大学卒業式が3月17日に開かれ、保育科200名、専攻科保育専攻4名、専攻科介護福祉専攻19名、合計235名が新たなステージへと旅立っていきました。

式典では、卒業生一人ひとりの名前が呼び上げられ、代表者に卒業証書、修了証書が授与され、また専攻科保育専攻の4名には学位記も授与されました。

式辞では、新海学長より、「卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。ご家族のみなさん、心よりお祝い申し上げます。みな

さんは、この柳城でたくさんの方とラスメート、先生方、実習先の子どもたち、障がいを持った方々など、多くの人と出会うことができました。これからも多くの人と出会う機会があります。その出会いや関わりを大切にしていってください。

そして、柳城生らしく保育者や介護福祉士に求められる教養や専門知識・技能を身につけました。これからは、それらを礎に、幼い子どもたちやお年寄りや障がいをもつ方々に日々「愛をもつて仕える」ほんもののプロフェッショナルに成長して下さい。柳城卒業生の誇りを胸に秘め、生涯をとおして自己実現し、社会貢献されることを祈念します」と激励されました。

渋澤理事長からは「それぞれの学びを終え、いよいよ新しい世界に旅立って行かれます。ここでの学びが、これからの人生の基礎となり、今後の働きや生活の場で大いに生かされますよう心より願っております。庇護されていた学生生活から、自分で学び、決断し、人間関係を、新たな社会の中で学び、築いていかなければなりません。多くの出会いや経験の中から



二年前、校庭の満開の桜に囲まれ入学式を迎えたことを懐かしく思い出します。入学後は、授業や実習、アルバイト、有意義な学生生活にしようとして希望をもつてい

学生謝辞

卒業生代表 福和 佳純

ら、くじけない心を養ってください。「建学の精神」を心に持ちながら新たな自分の道を行んでください。そしていつまでも柳城と繋がっていきましょう。みなさんのこれからの新しい歩みの上に神様の導きとお守りをお祈りします」と祝辞が述べられました。

学生を代表して学生会会長の福和佳純さんより大学へ感謝と新たな出発への決意が力強く語られました。

ましたが、現実は大変忙しく厳しい毎日でした。この二年間は私にとって大変実り多いものでした。

ピアノ授業では、今までのような音楽にいそむ授業ではなく、技術を身に付ける難しさや大変さを痛感しました。授業や演習を通して保育者としての役割、子どもに寄り添うことの大切を実感しました。実習では不安を抱えることもありましたが、保育者になりたいという強い思いを胸に最後まで頑張ることができました。苦しい時も逃げずにやり通すことができたので今の私がいるのだと思えます。課題や自己制作、宿題も多くのことから入学当初に考えていたような楽しいことばかりではありませんでした。

しかし、柳城の二年間は、私に多くの知識と豊かな経験や体験を与えてくれました。この柳城で得たことを、これからの仕事や社会生活に、活かせるよう頑張りたいと思います。

私たちを見守ってくれた家族やご指導くださった先生方、職員のみなさま、共に過ごしてきた仲間たち、そして多くの場面でご支援くださったすべてのみなさまに心より感謝し、お礼申し上げます。

2011年度よりスタートいたしました『マーガレット・ヤング基金』への皆様のご寄附は、昨年度の60件（533,566円）を加え、総額で5,246,336円となりました。皆様のお支えに感謝いたします。基金の使途としては、①教育研究環境整備、②奨学金充実、③特別支援活動を設定しており、奨学金の充実については、今まで実施している柳城独自の貸与型奨学制度、給付型奨学制度に加え、今年度より、本学保育科を卒業して専攻科保育専攻に進学する学生を対象とした授業料減免制度を開始しました。また、教育研究環境整備については、今後の創立120周年記念事業やキャンパス整備事業と関連して、有効に活用させていただきます。これからも基金への更なるご協力をお願いいたします。

マーガレット・ヤング基金
ご報告とお願い

退任のごあいさつ

前学長 新海 英行



8年間(任期2期)にわたって大変お世話になりました。心よりお礼を申し上げます。柳城では、柳城では

たくさんのごあいさつをいただき、そして体験しました。一つは、学生たちと一緒に礼拝を守り、ともに祈り、神さまと対話できました。そしてこのひと時が私の心を癒し、エンパワーしてくれました。礼拝が柳城生活の中心に位置づいていることの深さを知りました。二つ目に、かなりの過密授業にも負けず、さわやかで屈託のない柳城生らしく成長する学生たちに励まされました。と同時に、彼女たちを献身的に教育指導され、キャリアサポートされる教職員の貴重な働きに教えられました。

三つ目に、短大と附属幼稚園、理事・監事と教職員、それぞれのパートナーシップ(絆)のもとで、学生の立場を尊重する学校運営のあり方に触発されました。いずれも柳城の輝かしい伝統だと確信しました。これからもこの校風を大切に、いっそう学生たちにとって学びがいのある、そして教職員にとって働きがいのある柳城に発展されますように祈ります。退任1か月後のいま、最後の教員人生を柳城で過ごすことができ、本当によかったと、しみじみと実感しています。これからは柳城学院理事として微力を尽くしたいと思いますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

新海学長・尾上特任教授 最終講義



3月1日(火)に年度末で退職される「新海学長」・「尾上特任教授」の最終講義が開催されました。

新海学長は、昭和47年に大学教員に就任以来、43年間、大学での教鞭をとられました。2008年からは本学学長に就任。本学の発展に尽くしてこられました。

当日は、「フレイベルが幼児教育に果たした役割」について講義をされました。今日の幼児教育の礎を築いたフレイベルの生い立ち、幼児教育への取り組み、よりよい就学前教育の実践指導、教育観と教育実践等をその時代背景を交えながら解説されました。最後の講義を終えられました。

尾上特任教授においては、8年間の幼稚園教諭を経たのち、32年間の柳城での教員生活を終了されました。

最後の講義は、「キリスト教保育とは」をテーマに講義をされました。宗教教育の目的からキリスト教保育の果たす役割、聖書から見る子ども観、そして、いのちの教育」を関連した絵本を紹介しながら講義をされました。

お二人の講義は、保育・幼児教育に関わる者を育てる大学として、子どもたちを守り、育てていくことの大切さを学ぶことができた時間であったと思います。

長きにわたる教員生活の最後にそれぞれの先生に花束が贈られました。



学院人事

〈退職〉

2016年3月18日付

〔幼稚園〕

豊田幼稚園

教諭 石上 仁美

2016年3月31日付

〔短大〕

学長 新海 英行
教授 浅倉 恵子
教授 柴田 益江
准教授 水落 洋志
特任教授 尾上 明子
総務課長 中村 雅

〔幼稚園〕

柳城幼稚園
教諭 吉田 圭織

豊田幼稚園
教諭 光岡 里梨
教諭 江上 円花

三好丘聖マリーガレット幼稚園
教諭 生熊 友里

〔昇任〕

2016年4月1日付

准教授 大崎 千秋
講師 山本 聡子
主任 樺木真理子
主任 早川美智代
(就職課)

〔任用変更〕

職員 相川記久恵
(教務課)

理事・監事・評議員

理事長 洪澤 一郎
評議員 宮澤 俊夫
諸岡 研史
池田 正毅
塚田 一宣
関 俊子
金子 明恵
三宅美穂子
鎮旗 真弓
平松ちづ代
中尾 志朗
洪澤 一郎
長縄 年延
岡野 尚子
田中 誠
菊地 伸二
鬢橋久美子
松本 勝

〈採用〉

2015年9月19日付

〔短大〕

講師 勝間田明子

2016年4月1日付

〔短大〕

学長 長縄 年延
准教授 内山 尚美
准教授 芝田 郁子
(介護福祉専攻)

助教 扶瀨絵梨奈
助教 菊池 理恵
特任職員 中村 雅
(総務課長)

監事 日野 忠市
伊藤 秀章

理事 池田 正毅
関 俊子
新海 英行
中尾 志朗
塚田 一宣
長縄 年延
菊地 伸二

幼児教育研究所

多種多様な活動の充実と発展を目指して

これまでの活動の継続と充実

今年度も引き続き、以下の活動に取り組んでいます（カッコ内は2016年度実績／実施予定）。

- ①紙芝居プロジェクト（紙芝居の会（8月）・「第10回キッズ紙芝居コンテスト」（7～9月。表彰式は11月）の開催、日本子ども社会学会での発表（6月に琉球大学にてラウンドテーブル開催。平和を創る伝承メディアとしての意義を参加者と共有）や「紙芝居・ネット」を通じた情報発信など）
- ②昭和生涯学習センターと共催の親学関連講座（前期は、1歳児とその保護者を対象に「発見いっぱい 1歳児の成長」を開催。後期は0歳児とその保護者を対象に本学主催で「こんにちは あかちゃん」を実施予定）
- ③その他、本学主催の各種子育て支援活動の日程調整や情報共有の仕組みづくり

このような多彩な活動が有機的な繋がりをもって展開するよう、幼児教育研究所委員会は調整や環境醸成をおこないます。

これからの活動の展望と期待

これまでの活動を基盤とし、学内における実践的な学びの機会の拡充と本学の特長を活かした地域貢献を進めています。具体的には、この5月より0～1歳児とその保護者の集い・憩いの空間「あかちゃん広場」をスタートさせました。通年で10回の開催予定ですが、既に全回、定員を超える申し込みを頂いています。

この準備・運営には保育専攻の学生が携わっており、本科での実習において不足しがちな子育て支援に関する知識や技術を実践的に学んでいます。学生たちの成長は目覚ましく、大きな喜びと希望を感じています。

「これまで」と「これから」を繋ぐ現在のすべて活動とそこに関わる人々のいきいきとした交わりが、より豊かな実を結ぶよう、誠心誠意、尽力していきます。

（幼児教育研究所委員会 勝間田明子）



今どき柳城の、お昼ご飯についての報告

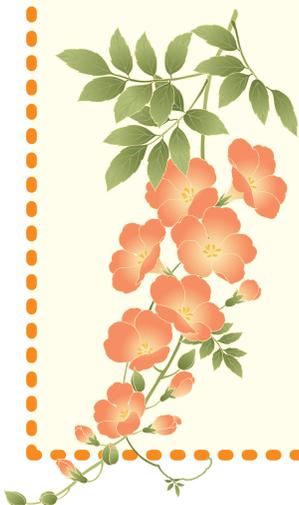
今年度も早いもので前期が終ろうとしています。昼休みにはラウンジが満席となつて、いつものように賑やかな食事の時間を見ることが出来ます。明るく元気な柳城生は今年も健在です。しかしながら昼のラウンジや中庭の様子はこれまでと少し変化がありましたので紹介いたします。

ここ数年間の学生アンケート結果では、大学生活で学生が大切にしている重要項目に「学食」や「購買」を挙げて、学食を設置して欲しいという要望が出ています。これまで長い間、柳城にはそれらがありませんでした。昨年度、学生生活委員会でこの学生たちの要望をなんとかして叶えたいという目的でワーキンググループが立ち上げました。しかしながら、大学自ら設置して学食を設置する環境ではない状況下、学外の業者による運営でサービスを受けることが出来ないかを模索し、可能性のある業者に相談を持ちかけました。紆余曲折を経て、昨年度後期より毎日お昼時の学内で、弁当販売が実現しました。そして今年度になって職員の紹介から他大学でも展開されている移動販売車の学内乗り入れが始まっています。これまで昼食時は、少し離れた

位置まで購入のために往復する必要がありました。ただでさえ多忙な学生への負担は声となつて教員へも届いていました。今では午前授業が終わると店の前で学生の列ができます。これで学生が期待した学食が完成したことにはなりません。多忙な柳城生の学外へ弁当を買いに行く手間を少しは軽減できたようです。出来立ての暖かいものや、手作りのスイーツ等の購入も可能になっています。

保育者養成校が愛知県内だけでも数えらる40程になった今、柳城を選んで入学してきてくれた学生の一人一人に感謝をして、これまで不便であったことを改善し、少しでも充実した学生生活にしたいものです。

（学生生活委員長 松下明生）



附属柳城幼稚園



春休み中に、大きな木の遊具と滑り台が合体し、2階建の木の遊具が子どもたちの遊びの場として新しく加わりました。長い間子どもたちの遊びを支えてくれた大きな木の遊具の柱を利用して、滑り台付きの遊具に変身したのです。新学期、登園するなり、子どもたちは、『うわあ〜』と歓声をあげ、急いで朝の支度をして、遊び始めました。これからこの木の遊具も、子どもたちの遊びを見守ったり、安心できる場所として、子どもたちの遊びを支えてくれることになり、どんな子どもたちの姿が見られるか楽しみます。

(主任 鍋谷 貴子)

年長〈青組〉

青組になり、またひとつお兄さ

ん、お姉さんになった子どもたち。年下の子に優しく声をかける姿、先生の手伝いや片付けを意欲的に取り組む姿は、頼もしい限りです。戸外遊びでは、春になるとさまざまな虫たちが顔を出します。子どもたちは、虫探しに夢中になって、園庭の隅々まで探しまわります。先日は、青組にヤモリがやってきました。飼育ケースにヤモリを入れた子どもたちは、満足気。その日の礼拝の時間にみんなでヤモリについて話し合いました。『いのちは、大切だからお家に帰してあげる』でも一緒に遊びたい』など、いろいろな思いが出ました。そして、みんなでよく考え、帰りまでにお家に帰えそう！ということになり、ヤモリを、いた場所へ戻しに(帰しに)行きました。遊びの中で、いのちの大切さに気づき、私自身も、子どもたちの優しさに気づいた一日でした。今年も、たくさんのお見見を子どもたちと楽しんでいきたいです。

年中〈黄組〉

年長(青組) 担任 桑原 奈津

今年度の黄組では、28人の明るい素敵な子どもたちが、過ごしています。子どもたちが大好きな戸外遊びでは、春休み中に新たに設

置された遊具に興味津々です。ここでは、様々な遊びを展開している子どもたち。2階建の遊具の1階にテーブル運び、お家ごっこをしたり、自分の力を信じて、一生懸命にロープのネットをよじ登って遊んでいます。園庭の石の下や草の近くをよく見て、だんご虫などの生き物を探し、触ってみたりと、いろいろなものに興味を示しています。そんな子どもたちと一日一日を大切に過ごしながら、共に喜び愛されていることを感じられるような一年にしていきたいと思えます。

年中(黄組) 担任 吉田 圭織

年少〈赤組〉

純粋で素直で可愛くてたまらない子どもたち。今年度の赤組は、25名の子どもたちとスタートです。4月の緊張した姿から、少しずつ表情も和らぎ、『おはよう』と元気に登園してくれます。大好きな手遊びを想像力豊かに楽しみ、魔法がかかったかのように遊びの世界に入り込みます。真っ白な心の子どもたちは、遊びやクラス活動、いろいろな人との関わりを通して、様々なことを感じ、過ごしているようです。大好きな子どもたちと心を通わせながら、笑

顔溢れる毎日を過ごしていきたいと思えます。

年少(赤組) 担任

加藤 惟奈

預かり保育

〈なでしこ組〉

なでしこ組では、毎日約20人程度の子どもたちが、過ごしています。クラスからなでしこ組の部屋に来るとまずは、楽しみなおやつです。そして、縦割り遊びです。遊びの中では、笑顔が沢山見られ、『また明日もなでしこにする!』と嬉しい言葉を残して、帰っていく子どももいます。年上児は、小さいお友だちに優しい声をかけたり、使っている玩具を譲ったり、自分たちの遊びに入れてあげる姿など、子どもたちのもう一つの素敵な一面をみることが出来ます。通常の保育時間の中とは、またひとつ味違う関わりや楽しさを大切にしながら、子どもたちと楽しい時間を過ごしていきたいと思えます。





附属豊田幼稚園

満3歳児 (もも組)



もも組

今年度は園児の弟妹が多く、兄姉の園児は弟妹の入園日を随分前から心待ちにしています。いよいよ入園の日を迎えると、兄姉は身支度もそこそこにもも組の部屋に向かい、弟妹が困っていないかを仲間と一緒に見守ります。年上の園児に手伝ってもらって、もも組さんも嬉しそう。自由遊び中も、ブランコやおもちゃを譲ってもらったり、三輪車に乗せてもら



年少組

満3歳からの進級児とこの春の入園児が混合でクラスを構成しています。初めの内はそれぞれのドキドキ感が大きく、保育者に促される

年少児

今年度のもも組は、生活動作を繰り返して自分の力で生活できることを喜び、五感を通して環境と出合う満足感を味わい、花や野菜の種まきから収穫までを体験して、毎日を心豊かに過ごしたいと思えます。(林・光岡)

進級・入園直後から、一つ大きくなった喜びが全身から溢れていた年中児です。新しい部屋や仲間との出会いに興味津々。今までは他の誰かからしてもらっていた事を今度は誰かにしてあげたい!と張り切っている様子。年中になって初めて挑戦する事

年中児

面白い!楽しい!と感じるツボは違っても、他の人が感じた事を共有すると、その喜びは倍増しそうです。これからも、他者との共通体験が子ども同士を繋いでいきますように。(粟田・磯貝・鈴木)

例えば、絵本や紙芝居を保育者が語り始めると、年少児は物語の世界に入り込み全身で楽しむ姿が見られます。主人公になり切った動作をしたり、感情移入したり…。これまでは、個々が感じたままそれぞれに楽しんでる様子でしたが、最近では、近くにいる人と一緒に笑い合う場面も増え、他児と気持ちを共有する楽しさも味わえているようです。

憧れの年長さんになった子どもたちは、何でも《やりたい》《できそうな気がする!》

年長児

自分の当番の日を楽しみにしています。もし、当番の日に体調を崩して欠席しなくてはならない場合でも、当番の仕事があるから幼稚園に行くと言って、母親を困らせるほど責任感も強いのです。(江上・眞野)



年中組

水やりは当番に任せて! おおきくなあれ♡



年長組

集団ならではの『楽しさ』『面白さ』それに、『力を合わせると出来る事』『自分の事のように他の人の事を慮ること』等を大切に日々過ごしたいと思えます。(長江・福田)

の二つが、当番活動です。当番は一日二名。担任手づくりのバッジを肩に付けて過ごします。主な仕事は、礼拝や食前後の祈りの先唱をする、欠席等の連絡票を職員室に届ける、野菜の水やり、金魚の餌やり、自由遊びの終了を知らせるベルを鳴らす、です。当番の二人は、声を揃えたり相談して分担する等します。多くの年中児が、自分の当番の日を楽しみにしています。もし、当番の日に体調を崩して欠席しなくてはならない場合でも、当番の仕事があるから幼稚園に行くと言って、母親を困らせるほど責任感も強いのです。

小さい人を手伝ったり励ます場面ではお兄さんお姉さんぶりを発揮し、小さい人が安心できるようにと遠慮がちに接する姿や待つ姿も見られ、感心しています。

一方、クラス対抗でリレー・玉入れ・ぐるぐるじゃんけん等の集団遊びをする時には、仲間に対する遠慮はありません。思い切りぶつかり合い、負けると「どうしたら勝てるか」「すぐ走り出せるように構えたらいい」と知恵を絞って作戦会議が始まります。「今度こそ」という気持ちを奮い立たせて次回を楽しみにする年長児もあり、遊びが楽しく面白さを実感できるようにになりました。

がんばれーっ!!



附属三好丘
聖マーガレット幼稚園

年長組

年長組の春は大忙しです。年中さんと春探しの散歩に出かけた。春のやわらかな陽射しが子どもたちを温かく見守ってくれている中、手をつないだ相手に合わせながら優しく接している姿に年長らしさを感じました。そして、年長組の春の恒例、『味噌作り』です。麴屋さんで味噌麴と米麴、大豆を購入し、樽と圧力鍋を準備したら、まずは子どもたちと味噌作りについて学びました。【大豆を洗い、丸1日水に浸し、圧力鍋で柔らかく煮て潰して麴と混ぜる】実際には、水に浸した大豆が大きくなってびっくりにして、煮た大豆のいい匂いに酔いしれながら、アツアツの大豆を一生懸命潰しまし

年中組

た。麴を混ぜ合わせると「ポップコーンの匂いみたい」と夢中で匂いをかいでいました。みんなの思いと一緒に樽の中に「よいしょ！」と詰め込んで蓋をして重石を乗せました。味噌はこのまま熟成させて冬に出来上がります。その頃には子ども達も色々な経験をしてぐんと成長しているのでしょうかね。

去年までは一番小さいお友達だった子どもたちが、ちよっぴりお兄さんお姉さんの年中組になりました。「年少さんを連れて行ってあげたよ！」と嬉しそうに話す姿は自信に満ち溢れています。この自信を大きく伸ばせるような楽しい1年にしていきたいと思っています。

そんな年中組の楽しい生活の1つにと、春探しをしました。幼稚園の近くの土手にはたんぽぽやシロツメクサなどの花がたくさん咲いていて、テントウムシやカエルなどの生き物がいます。春をたく



年長組

年少組

さん感じよう！と計画し、年長組と手をつないで散歩に出かけました。土手に着いて早速テントウムシを見つけると、子どもたちは大喜びで観察していました。「みて！指輪すてきでしょ」と花を摘んで指輪や花束をつくる子もいて春の自然の中で思い切り楽しんでいました。

これから迎える夏にはどんな発見が待っているのか今から楽しみです。

毎年4月は年少の部屋から大きな泣き声が聞こえてきますが、今年度は泣いている子が少なく、子ども達は登園してくると「今日は何してあそぶの？〇〇したい！先生一緒に遊ぼう！」と目を輝かせています。そして園庭ではお兄さん、お姉さん達の遊びに興味を持



年中組

2歳児教室

ち真似をしながら遊んでいます。子ども達が家庭から離れ、初めての社会生活を送る幼稚園生活の中でお友達や保育者と一緒に、やりたい！できる！できた！をたくさん経験して、安心して楽しい園生活が送れるようにしていきたいです。

また、初めて礼拝に参加し神様と出会う子もいます。その中で神様に愛され、守られている事を知り、ひとりひとりが光り輝きながら生活してほしいと思います。



年少組

初めはお母さんと離れて泣いている子もいますが、園では楽しい事がいっぱい。外で先生やお友だちと大きな滑り台を滑ってみると、風がとても気持ちよくて「楽しい〜」と声が聞こえてきます。もう1回上り「やつぽー！」と叫んでみると、下にいるお友だちや先生から「やつぽー！」と山びこが返ってきます。砂場では、大きな山を作ったり、カップやお皿に山盛りのごちそうを作ったり、友だちの存在に、気付き始めています。

「いっしょに」という今年の園のテーマのように、子どもたちが「みんなで一緒にいるの楽しいな♪」と感じられるよう、関わりを大切にしながら日々保育しています。先日、今年度の入会式を終え、これからどんな楽しい事を発見するのか楽しみです。



2歳児教室

幼稚園の卒園式

保護者、教職員に見守られながらそれぞれの園を巣立っていききました。

柳城幼稚園 29名

豊田幼稚園 68名

三好丘聖マーガレット幼稚園 57名

◆ ◆ ◆
柳城幼稚園では、園長から「運動会やクリスマス会、思い出発表会での、一人ひとりの輝く姿、活き活きとした姿にたくさんの感動をいただきました。小学校へ行っても神様からいただいているその力を十分に使って、心も体も強く



に暖かく見守りお支えいただいたおかげで、無事に大切なお子さまの門での日を無事に迎えることができました。数ある幼稚園の中から本幼稚園を選んでいただき、保護者のみなさま、お子さまに出会えたことを心より感謝申し上げます」と感謝を述べられました。幼稚園で体験したいろいろな学びや遊びをもとに小学校でも頑張りたいと願っています。

幼稚園の入園式

今年度の入園式がそれぞれの園で行なわれました。これから、たくさん時間を過ごす園で、たくさん遊び、学び、健やかに成長していただけることを願っています。

柳城幼稚園 14名

豊田幼稚園 38名

三好丘聖マーガレット幼稚園 55名

◆ ◆ ◆
柳城幼稚園では、園長から「入園おめでとうございます。本日、入園式を迎えられたみなさまとともに新年度がスタートしました。これから本園で多くの時間を過ごされる訳ですが、子どもたちの



からいただいている神さまを、その命を輝かせていくお手伝いを子どもたちに寄り添いながら全教職員で見守ってまいります」と式辞を述べられ、新たな生活がスタートしました。

同窓会

のぞみの会



会長 鎮旗 真弓

みなさま、おかわりありませんか？

昨年度から同窓会では、在校生のみなさんを対象にした、芸術・文化企画を提案させていただいております。キリスト教センターのご協力で、昨年度は劇団うりんこによる「いきもの生き方図鑑」を観劇し、今年度は6月に「フロートアンサンブル」さんをお招きし、ピアノ・ヴァイオリン・オンドマルトノによる生の音楽を、1年生はソプラノ・テノール歌手の素晴らしい歌と共に、また2年生は役者さんの凛とした朗読と共に間近で体験することができました。



今や、パソコンやスマートフォンで、いつでもどこでも欲しい情報が手に入り、世界中の人と繋がることのできる時代。出合いの感動は薄れ、映像を見て心が震えたり揺れ動くことも少なくなっています。私は仕事柄、大勢の方と接しますが、目を合わさない、返事をしない、相

後援会

◆後援会役員 (敬称略・順不同)

会長 金子 明恵	委員 森井 淳
副食 三宅美穂子	委員 大館 有里
委員 熊谷 克予	委員 粕谷千恵子
委員 福井ゆかり	委員 大橋美香子
委員 鳥越 啓子	委員 日高 明子
委員 奥田 宏美	
委員 北岡 康子	会計監査
委員 林 久美子	委員 中川 眞紀
委員 浦崎希代子	委員 村瀬めぐみ

2015年度 会計報告

資金収支状況

(単位：千円)

	科目	2014年	2015年
収入の部	学生生徒等納付金収入	586,908	510,405
	手数料収入	11,105	11,692
	寄付金収入	12,969	9,239
	補助金収入	242,484	243,474
	資産運用収入	5,669	
	資産売却収入	1,013,138	1,048,901
	事業収入	42,510	42,614
	受取利息・配当金収入		1,516
	雑収入	33,910	21,571
	前受金収入	58,777	74,453
その他の収入	112,979	45,326	
資金収支調整勘定	△ 106,050	△ 74,795	
前年度繰越支払資金	1,375,147	1,588,155	
収入の部合計	3,389,551	3,522,555	
支出の部	人件費支出	531,786	529,335
	教育研究経費支出	171,808	183,874
	管理経費支出	53,516	56,668
	借入金等利息支出	797	642
	借入金等返済支出	9,270	9,270
	施設関係支出	2,063	52,613
	設備関係支出	17,649	9,237
	資産運用支出	1,013,129	1,065,113
	その他の支出	16,010	14,410
	資金支出調整勘定	△ 14,635	△ 14,341
	次年度繰越支払資金	1,588,155	1,615,730
	支出の部合計	3,389,551	3,522,555

[2015年度決算概況] 今年度より「学校法人会計基準」が改正された事により、計算書の書式等が変更となりました。特に、消費収支計算書は、事業活動収支計算書と名称変更となり、区分経理が取り入れられました。

1. 資金収支状況：学生数の減少により「学生生徒納付金」が前年比3千7百万円の減少となりました。又、短大部門で北館用地を購入した分が「施設関係支出」に含まれています。「人件費」については、今年度賞与支給率を見直し、支出を前年並みに抑えました。「設備関係支出」についても学院全体の支出は少なく、その結果、次年度繰越資金としては、2千7百万円の増加となりました。
2. 事業活動収支状況：収支のバランスは、やはり学生数の減少により収入が減少したことが大きく、基本金組入前の収支差額で、3百47万円、基本金組入後で6千3百万円の当年度支出超過となりました。
3. 貸借対照表：総資産は、1百10百万円の減少となりました。北館の土地購入以外は、大きな資産の増となるものはありませんでした。

[学院：事業活動収支差額の経年変化]

- 事業活動収入
学生生徒等納付金、補助金などの学校法人の負債と成らない収入
- 事業活動支出
人件費、消耗品費、光熱水費などの消費する支出及び資産の消費額
- 基本金組入前等年度収支差額
事業活動収入－事業活動支出
- 事業活動収支差額比率
基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入。率が高いほど自己資本が充実していることを示す。少なくとも、10%以上が望ましい。

※ 2015年度より学校会計基準が改正となり、帰属収入→事業活動収入、消費支出→事業活動支出と名称変更となりました。

事業活動収支

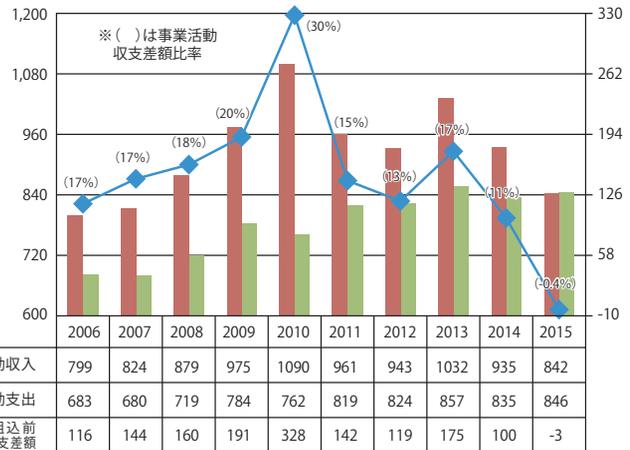
(単位：千円)

	科目	2014年	2015年
教育活動収支	事業活動収入		
	学生生徒等納付金	586,908	510,405
	手数料	11,105	11,692
	寄付金	13,032	7,049
	補助金	242,484	241,413
	資産運用収入	5,669	
	事業収入	42,510	42,614
	雑収入	33,910	21,571
	教育活動収入計	935,618	834,746
	事業活動支出		
人件費	527,014	523,479	
教育研究経費	250,848	261,899	
管理経費	55,683	58,659	
徴収不能額等	0	112	
教育活動支出計	833,545	844,150	
受取利息・配当金	0	1,516	
その他の教育活動外収入	0	0	
教育活動外収入計	0	1,516	
借入金等利息	797	642	
その他の教育活動外支出計	0	0	
教育活動外支出計	797	642	
特別収支	事業活動収入		
	資産売却差額	0	549
	その他の特別収入	0	5,831
	特別収入計	0	6,381
事業活動支出			
資産処分差額	1,037	1,325	
その他の特別支出	0	0	
特別支出計	1,037	1,325	
基本金組入前当年度収支差額	100,241	△ 3,474	
基本金組入額合計	△ 19,850	△ 60,046	
当年度収支差額	80,390	△ 63,520	
前年度繰越収支差額	90,249	170,866	
基本金取崩額	226	269	
翌年度繰越収支差額	170,866	107,615	

貸借対照表の推移

(単位：千円)

	科目	2014年	2015年
資産の部	固定資産	2,389,301	2,387,443
	流動資産	1,632,140	1,632,895
	(内、預金)	1,588,155	1,615,730
	資産の部 合計	4,021,441	4,020,339
負債の部	固定負債	171,395	156,469
	(内、借入金)	32,640	23,370
	流動負債	85,747	103,044
	負債の部 合計	257,142	259,513
基本金の部合計	3,593,432	3,653,209	
消費収支差額の部合計	170,866	107,615	
負債及び純資産の部合計	4,021,441	4,020,339	



9	9	8	7	5	5	4	3	2	1	学籍番号	氏名
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	7	曾根 千晶
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	B	宮崎 菜月
D	A	C	B	A	C	A	B	A	B	3	佐伯 香澄
0	1	2	3	3	1	1	1	3	3	4	黒岩 菜由
2	2	8	8	1	6	1	4	3	3		下村 治菜
											牧野 桃花
											若尾 祐希
											広田 祐希
											桑原 詩歩
											伊藤 瑞姫

特別給付奨学金 1年次奨励 奨学生 (27生) 認定学生

の励みとなったことでしょうか。

からの学生生活や就職活動への頑張った成果を実感し、これ

は喜びを全身に表現しながら

われきました。表彰された学生

日の合同礼拝の時に同時に行

彰されます。表彰式は6月8

との思いで、全学生の前で表

在学生の模範となつて欲しい

た。学業を頑張つた学生が、

付型奨励奨学金が贈られました

年末時の成績優秀者10名に給

4年目を迎えます。1年生学

た特別給付奨学金が本年度で

平成25年度から施行され

特別給付奨学金表彰式

2016年度 入試結果

保育科211名、専攻科保育専攻5名、専攻科介護福祉専攻11名の新入生が入学しました。昨年度は本学にとって厳しい状況となりましたが、教職員一丸となつての努力が功を奏し、保育科については定員以上の入学者を得ることができました。しかし、18歳人口の減少、高校生の四大志向など厳しい外部環境には変わりありません。今後も柳城の良き伝統を守りつつも、受験生、在学生の気質変化にも敏感に、新たなチャレンジも時に必要と考えます。

本学は今年で118年を迎え、歴史と伝統に基づく教育内容や学習支援が、社会に認められていると信じております。実習先や就職先の園長先生からは、「柳城生はまじめで明るく素直」、「常に努力を惜しまない保育に取り組む姿勢が良い」、「保育の内容を豊かに受けとめることのできる基礎的な力を持っている」など高い評価をいただいております。今後におきましても、歴史に甘んじることなく更なる教育の質の向上、学生本位の教育や施設・設備の充実を目指してゆきます。保育、介護福祉への進学を希望される方が見えでしたら、是非、本学への受験をお勧めいただければと思います。

2016年度 就職状況

2015年度卒業生は就職率100%を達成することができました。具体的な数字を見ていきます。保育科、専攻科保育専攻、専攻科介護福祉専攻合わせて213名が卒業・修了しました。そのうち194名が就職を希望し、全員が無事就職をすることができました。

就職先の種別データを見ますと、保育職・介護職で全体の約94%を占めています。そのほとんどが正規職員として採用されました。本学は多くの学生が保育者・介護者を目指して入学し、ほとんどの学生が保育・介護職に就職をしていきます。今年度も昨年度と同様、保育・介護職の求人はいくつもありました。社会問題にもなっている保育士不足を背景に、保育士採用の求人は昨年度同様、増加しました。また求人増加の背景として「柳城は質の高い保育者を育てている」との評価を多くの現場の先生方からいただいていることも大きいと思います。

少子高齢化や女性の社会進出が進む現状においては保育者、介護者への期待は年々高まっています。しかし、そこには保護者や家族が安心して保育者、介護者に任せることができる支援者の質の向上が求められます。保育・介護の仕事は実践力の向上が不可欠です。学生のうちから実践力を養う術を身に付ける必要があります。そのような人材を育てなければ、現場の要望に応えることが出来ません。

自ずと授業は厳しく過密なスケジュールにならざるを得ません。しかし柳城生たちは立派に実践力を身に付け、巣立って行くからこそ、現場から柳城出身を取りたいという声が上がると聞いています。本学の就職は、卒業生のみならず、現場での活躍と評価に支えられており、毎年、多くの保育園・幼稚園、認定こども園から求人をしていただいております。学生は恵まれた環境の中で就職活動を行なうことができます。先輩たちが築き上げてきたよき伝統をこれからの柳城生たちも身に付け、立派に巣立って行ってほしいと思っています。少しでもそのお役に立てるように就職課として日々精進してまいります。

2013年求人件数

幼稚園	保育園	こども園	児童施設・乳児院・障害児(者)施設等	老人福祉施設	公立	一般企業
329	478	—	55	156	38	83

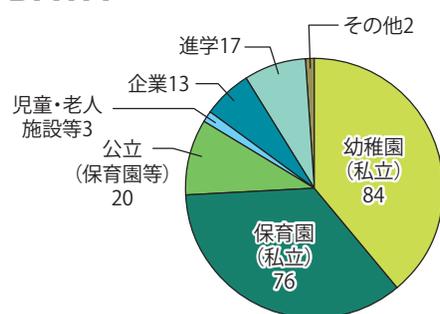
2014年求人件数

幼稚園	保育園	こども園	児童施設・乳児院・障害児(者)施設等	老人福祉施設	公立	一般企業
355	576	—	72	207	61	80

2015年求人件数

幼稚園	保育園	こども園	児童施設・乳児院・障害児(者)施設等	老人福祉施設	公立	一般企業
340	584	81	70	194	53	77

DATA 2015年度卒業生 213人



2016年3月31日現在

	卒業生数(人)	就職希望者(人)	就職率(%)	進学者(人)	就職希望なし(人)
保育科	195	177	100	16	2
専攻科	保育専攻	4	100	0	0
	介護福祉専攻	14	100	1	0
計	213	194	100	17	2

2017年度 入試概要

本学の入学試験には、公募制推薦A入試（専願）、公募制推薦B入試（併願）、新たに導入する公募制推薦C入試（併願）、AO入試、一般A入試、一般B入試、一般C入試、社会人対象等の特別選抜入試、特別推薦入試の試験があります。この中の特別推薦入試には、「同窓生推薦入試」と「キリスト教会推薦入試」が含まれています。まず、「同窓生推薦入試」は、本学を卒業・在学されている方のお子様、お孫様、ごきょうだいを推薦していただく入試です。特にこの入試は、合格者のすべての方に對して、入学金が免除される特典があります。なお、出願資格等詳細は下表にてご確認ください。次に「キリスト教会推薦入試」ですが、「同窓生推薦入試」と同様に、合格者のすべての方を対象に入学金が免除されます。

このように本学は、多様な入試を実施しておりますので、自分に合った入試を選んでください。入試広報課では、随時入試に関する相談やお問い合わせを承っております。お気軽にお電話ください。（入試広報課）

2016年度入学試験日程

試験区分		募集人員	出願期間	入学試験日	合格通知発送日
推薦試験	公募制推薦A入学試験（専願）	40	2016年9月26日（月）～10月7日（金）	10月15日（土）	10月19日（水）
	公募制推薦B入学試験（併願）	20	2016年10月24日（月）～11月4日（金）	11月12日（土）	11月16日（水）
	公募制推薦C入学試験（併願）	10	2016年11月21日（月）～12月9日（金）	12月17日（土）	12月21日（水）
AO入学試験		30	2016年9月1日（木）～9月16日（金）	9月24日（土）	9月28日（水）
一般A入学試験		30	2017年1月10日（火）～1月20日（金）	1月27日（金）	1月31日（火）
一般B入学試験		30	2017年1月10日（火）～1月23日（月）	1月28日（土）	1月31日（火）
一般C入学試験		5	2017年2月13日（月）～2月24日（金）	3月3日（金）	3月4日（土）
特別選抜	社会人入学試験	若干名	2017年1月10日（火）～1月20日（金）	1月27日（金）	1月31日（火）
	帰国生徒入学試験 私費外国人留学生入学試験	若干名	2016年9月26日（月）～10月7日（金）	10月15日（土）	10月19日（水）
		若干名	2017年1月10日（火）～1月20日（金）	1月27日（金）	1月31日（火）
特別推薦	指定校推薦入学試験	35	2016年10月17日（月）～10月28日（金）	11月5日（土）	11月9日（水）
	キリスト教会推薦入学試験	若干名	2016年9月26日（月）～10月7日（金）	10月15日（土）	10月19日（水）
	同窓生推薦入学試験	若干名	2016年9月26日（月）～10月7日（金）	10月15日（土）	10月19日（水）

「同窓生推薦入学試験」についてのお知らせ

本制度は、本学の歴史・教育方針をよく理解されている本学卒業生、在校生のみなさまから、子女、兄弟姉妹を推薦していただく入学試験制度です。

出願資格（次のすべての項目を満たすこと）

- ① 親または兄弟姉妹が本学卒業生または在校生である者
- ② 本学を専願とする者
- ③ 高等学校もしくは中等教育学校を2017年3月卒業見込みの者
- ④ 高等学校最終学年第1学期まで、または前期までの評定平均値が3.3以上の者
- ⑤ 出願時までの欠席日数の合計が25日以内の者
- ⑥ 出願時のピアノ演奏能力がチェルニー100番練習曲の30番を修了している者

試験内容

面接・書類審査

提出書類

入試区分の所定の提出書類の他に、卒業生または在校生の方の推薦書が必要です。（推薦書は本学所定用紙）

優遇制度

この入試において「合格」をされた方は、入学金を免除します。

お問い合わせ 入試広報課 052-848-8281（直）

ホームカミングデー・オープンキャンパス同日開催

イベントのお知らせ

柳城祭

2016年

11月2日(水)~3日(木・祝)

10:00~15:00 (予定)

両日ともに
一般開放します。ホーム
カミングデー

2016年

11月3日(木・祝)

10:30~12:00

同窓生の語らいの場として、ホームカミングデーを開催。
普段、なかなか会うことのできない仲間に出会えるかも…。
お茶菓子などを用意してお待ちいたしております。

りゅうじょう
子どもフェスタ

2016年

11月3日(木・祝)

10:30~12:00

2年生が“造形表現”“音楽表現”“身体表現”の
3つのグループに分かれて実践します。

2016オープンキャンパス情報

見て・聞いて・話して・感じてください 柳城を!!



柳城祭
りゅうじょう子どもフェスタ
ホームカミングデー
同時開催

8月27日(土)

10:00~15:00

主な当日の内容-----

- 学生による発表
 - 学生生活
 - 実習
- 模擬講義
- 造形あそび体験
- 保育実技にふれよう
- 紙芝居を楽しもう
- 個別相談
 - 入試
 - 就職
 - 学生生活 等
- 公募制推薦 B・C 入試対策講座
- 保護者対象説明会 他

11月3日(木・祝)

10:00~15:00

主な当日の内容-----

- 個別相談
 - 入試
 - 就職
 - 学生生活 等
- 公募制推薦 B・C 入試対策講座



附属幼稚園情報

運動会

■ 柳城幼稚園

10月15日(土)

■ 豊田幼稚園

10月8日(土)

■ 三好丘聖マーガレット幼稚園

10月15日(土)

■ 入園説明会

柳城幼稚園 9月10日(土)

豊田幼稚園 9月8日(木)・9月10日(土)

三好丘聖マーガレット幼稚園 9月17日(土)

■ 入園願書配布

9月1日(木)

新入園児
お知らせ子育て
支援

各園にて子育て支援事業に取り組んでいます。
ぜひお問い合わせください。

■ 柳城幼稚園 (052) 951-5080

■ 豊田幼稚園 (0565) 80-0198

■ 三好丘聖マーガレット幼稚園(0561) 36-8373

■ 入園願書受付

柳城幼稚園 10月1日(土)

豊田幼稚園 10月1日(土)

三好丘聖マーガレット幼稚園 10月1日(土)

同窓会情報

同窓生のみなさまへ

毎年、学院より今回のように「学院報」をとおして、柳城の今をお知らせしています。

しかし、住所不明などで返送をされてしまうことも多くあります。学生時代と住所が変更になっている、結婚して住所や氏名変更をした等がある場合には、恐れ入りますが大学ホームページ「同窓会・お問い合わせ」からお知らせください。お友だちにも学院報が届いているかをお互いにご確認いただき、届いていない方は大学に住所や氏名変更の連絡をいただきますようお願い申し上げます。

また、ご家族の方へお願いします。

本学院は歴史も古く、残念ながら逝去されてしまわれた方もおみえになると思います。恐れ入りますが、この場合にも大学にお知らせいただくと助かります。